



第 21 回学術集会の抄録登録期間の延長と、老年看護政策検討委員会からのご報告を中心にお届けします。

.-----.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*

第 21 回学術集会 抄録登録締切日を延長しました
2 月 16 日 (火) 14 時までです

.-----.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*

- ◆日本老年看護学会第 21 回学術集会ホームページ (<http://www.rounenkango.com/>)
をご覧ください。
- ◆研究報告だけでなく、実践報告も受け付けています。
- ◆書き方は、抄録フォーマットの右側にある「抄録の書き方」をご確認ください。研究報告、実践報告それぞれ書き方の例を示しています。
- ◆発表申込みは、日本老年看護学会第 21 回学術集会ホームページの「登録はこちら」をクリックし、演題抄録の登録・確認・修正～査読結果の項目をよくお読みください。
 1. まず、抄録フォーマットをダウンロードして記入してください。
※例年より入力できる文字数が少ないためご注意ください。
範囲内におさまっていない抄録、図表等は抄録集に掲載することができません。
 2. その後、「演題登録画面へ進む」をクリックして、基本事項を入力してください。
 3. 入力後、次に進んで確認し、最後に抄録添付になります。
- ◆大会会期 2016 年 7 月 23 日 (土)・24 日 (日)
会 場 大宮ソニックシティ
延長後の抄録締切 2016 年 2 月 16 日 (火) 14 時まで
多くの皆さまのご発表とご参加をお待ちしています。

.-----.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*

老年看護政策検討委員会より
平成 28 年度診療報酬改定に「認知症へのチーム医療加算」が入りました

.-----.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*

◆老年看護政策検討委員会の亀井委員長より、うれしいご報告です◆

○2016年1月29日に開催された中央社会保険医療協議会において、平成28年度診療報酬改定の中に「身体疾患を有する認知症患者のケアに関する評価」が加わることが決まり、その資料が公表されました。

身体疾患のために入院した認知症高齢者に対する病棟における対応力とケアの質の向上を図るため、病棟での取り組みや多職種チームによる介入が評価されることになりました。ただし、身体的拘束を行った日は、減算されます。また、看護計画の作成は不可欠です。詳細の内容は、下記の中医協資料206ページからをご覧ください。

○中医協資料

(<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12404000-Hokenkyoku-Iryouka/0000110780.pdf>)

○老年看護学会からの提案内容が大きく反映されました。ケア加算1と2の点数はこれからの検討とのこと。

○今回の委員会活動から、学術的活動を通じてエビデンスと現場の意見を集約して、政策提案し、高齢者や認知症ケアの質の向上に寄与していく大切さを学びました。このような委員会であり続けたいと願っています。また、現場のケアの実際について、情報を届けてくださったCNSの方々にも感謝申し上げます。

○現場の方々や管理者の方々にも、これらの情報をお伝えし、人員増や多職種チームを作ることなど、加算を得られるよう、準備をしていただけると良いと思います。会員各位からの情報提供をお願いします。

.-----.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*

関連団体情報

.-----.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*.-----*

◆社会技術研究開発センター(RISTEX) 領域シンポジウム

「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」 開催のご案内◆

○平成22年度より活動を開始した「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」

研究開発領域は、6年間の活動を締めくくり、次の段階へ進む新たなチャレンジへの入口に立っております。本シンポジウムでは、領域活動の集大成として、本年度に終了した6プロジェクトの成果をご報告するとともに、既に終了した9プロジェクトも合わせた全プロジェクトのポスターセッションを行い、みなさまと広く意見交換できる場を設ける予定となっております。

○コミュニティをベースとした新しい高齢社会のデザインについてどのように取り組み、これからどう取組んでいくのか。伝統と風格をそのままに残しながら新しく生まれ変わった知の拠点、東京大学安田講堂からみなさまと一緒に次への第一歩を踏み出したいと思っております。多くの方のみなさまのご参加を心よりお待ちしております。

日 時：平成 28 年 3 月 4 日（金）10：00～17：30（開場 9：30）

会 場：東京大学 安田講堂（東京都文京区本郷 7-3-1）

参加費：無料（定員 1,000 名）

詳細・お申し込み：下記 Web サイトをご覧ください。

<http://www.ristex.jp/korei/03event/sympoH27/program.html>

お問い合わせ：国立研究開発法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター
「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」事務局

E-mail: otoiwase-korei@ristex.jst.go.jp

◆山上の光賞について（日本学術会議ニュースメール No.534 より抜粋して転載）◆

○山上の光賞について、推薦依頼がありましたためお知らせいたします。

山上の光賞とは、日本の広範な健康・医療分野において素晴らしい活躍をし、よりよい社会を築くことに貢献している 75 歳以上の方々を顕彰する賞です。

○会員・連携会員の皆様のご推薦できる賞ですので、同賞にふさわしいと考えられる研究者がいらっしゃいましたら、ご推薦をお願いします。

○推薦要領は、当該ホームページ（<http://sanjo-no-hikari-sho.com/>）でご確認ください。

○締切：2016 年 2 月 19 日（金）

+.....+

< 発 行 >

日本老年看護学会 総務広報

担当：北川 公子（共立女子大学看護学部）

+.....+

※このメールは 2016 年 2 月 5 日現在のご登録情報をもとにお送りしております。

配信先の変更や停止については、下記事務センターまでご連絡ください。

※このメールの発信元アドレスは、送信専用アドレスです。

本メールへの返信はできません。

お問い合わせは、下記学会事務センターのアドレスにお送りください。

+.....+

< 発信元 >

日本老年看護学会事務センター

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 株式会社ワールドプランニング内

Tel:03-5206-7431 Fax:03-5206-7757 E-mail:rounenkango@nqfm.ftbb.net

+.....+